

下水道を未来につなげる会（GKP未来会）は、令和7年9月25日～10月13日の計9コマにわたり日大生産工学部で出前講座を行いました。森田弘昭教授、南山瑞彦教授にご協力いただき、113名の学生に参加いただきました。

一連の講座では、GKP未来会に所属する13団体が各コマの講師役を務め、下水道概論、計画、工事、水処理技術など、それぞれの業務内容や特徴を現場の視点を交えて説明しました。受講学生は真剣に耳を傾け、下水道業界への理解を深める有意義な時間となりました。

## 【実施概要】

日時：令和7年9月25日(木)4限、29日(月)3・4限、  
10月2日(木)3限、6日(月)3・4限、9日(木)3・4限、13日(月)3限  
※3限…13:25～15:05  
4限…15:20～17:00

対象：日本大学生産工学部 水環境浄化システム講義 履修登録者 113名

実施内容：GKP未来会の紹介、下水道概論/計画/工事/水処理技術等の紹介

参加団体：国土交通省、川崎市、千葉市、ヴェオリア・ジェネッツ、極東技工コンサルタント、日水コン、フソウ、月島JFEアクアソリューション、前澤工業、前田建設工業、メタウォーター、日本水工設計、東亜グラウト工業



▲GKP未来会の紹介



▲水処理技術の紹介



▲下水道工事の紹介

## 【学生のからの感想・意見】

- ・人々の生活の基盤を作るため、やりがいを感じられそうだった
- ・普段の授業では知ることのできない技術の話がきけて良かった
- ・下水道処理から新しくエネルギーを作る等、未来がある業界だと思った
- ・水ビジネスの可能性を感じられた。
- ・多様な職種があり自分のスキルアップにつながる
- ・日本の水技術は世界トップレベルだと思った